

令和2年6月砥部病院高齢者こころのケアセンター相談室 ニュースレターNo. 170

中予地域の認知症家族の集いは毎月第2月曜日午後1時～3時、場所は松山市道後「愛媛看護協会」1階です。なお砥部病院認知症疾患医療センターでは、当院西隣介護付有料老人ホームTo-be1階「タヤケこやけ」で毎週金曜日午後1時半から2時半認知症カフェ「オレンジカフェ」、また月1回第2水曜日に同じ場所、同じ時間で、若年性認知症の方対象で当事者カフェ「おれんじドア えひめ（べにまどんな）」を開催しています。

現在感染症のため、カフェは休業しております。感染症がおさまりましたら、またご利用ください。申し訳ありませんが、またのご来店をお待ちしております。



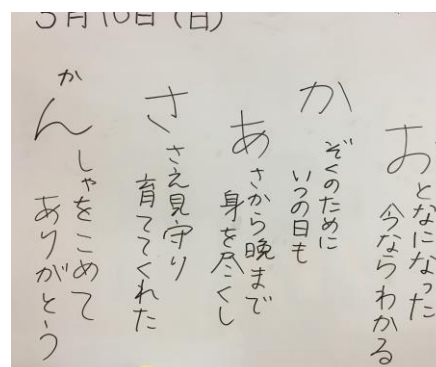
感染症の流行により、ご面会ができなくなって、皆さまご心配のことと存じます。健康に留意しながら、日々の活動は継続し、楽しく生活して頂くことをこころがけております。お手紙を患者さん宛に送って頂き、返信が可能な場合は、近況の写真を添えてお送りさせて頂いております。お支払いなどでご来院の折は、オンラインでお顔を見てお話頂く機会をもうけております。また入院されているご家族のご様子は、お電話でお問い合わせくだされば、できるだけお伝えしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



母の日がありました。

令和2年5月10日は母の日でした。ご面会の時間が分かっている方とは上記のようにオンライン面会をして頂きました。また各階で、エレベーターホール前においてあるホワイトボードには、職員がコメントを入れていました。

いつも通り、エプロンたたみをして頂いたり、塗り絵をしたり、アマビエ貼り子を作ったりして、過ごしています。

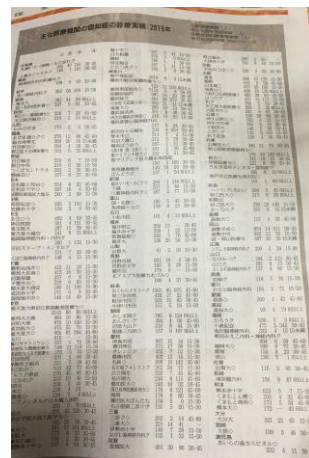


その他、センター長のオカリナで5月の歌を歌いました。散歩に行けば、「みかんの花」が咲いていました。また来年のパラリンピック目指し(?)「ボッチャ」を換気に気をつけながら、体を動かして体力維持に努めました。



認知症疾患医療センターの活動

5月は、認知症疾患センターの活動としては、専門外来診療と相談業務を、通常通り行なっております。読売新聞の「病院の実力 認知症」に記事が掲載され、取材を受けました。現在は講演や研修を集団で行なう事は自粛しておりますので、認知症の方の地域住民の方向けの啓発活動の一助となりました。



く
ま
の
つぶやき 🍊

5月は、砥部病院施設周辺は、みかんの花盛りでした。お散歩するとみかんの花の香りがしました。敷地内には、レモンの花も咲いていました。季節の変化を味わっています。



砥部病院高齢者こころのケアセンター 相談室
(文責 武田)

相談員:青木(176)・中平(512)・武田(516)・菊地(517)
お気づきの点がありましたら、ご連絡ください

